



あけましておめでとうございます

## 環境首都実現に向けてのステップアップを

安城市長 神谷 学

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成18年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

さて、わが国の経済は「バブル後」と呼ばれた時期を抜け出し、企業部門の好調さが家計へ波及すること、国内民間需要に支えられた緩やかな回復が続くと見込まれております。しかし、原油価格の動向が内外経済に与える影響は、目を離せない状況にあり、けつして楽観できません。

昨年は、第7次安城市総合計画をスタートさせ、めざす都市像を「市民とともに育む環境首都・安城」と掲げました。市内20か所で開催した「まちかど座談会」では、その概要説明を行うとともに多くの市民の皆さまと意見交換を図ることができました。また、大きな成果を収めた「愛・地球博」では、4か国とのフレンドシップ事業を展開し、国際的な友好を深めることができました。さらに、小中学校の校舎・市体育館耐震補強工事や中学1年生での少人数学級の実施など、各種事業を積極的に進めてまいりました。

本年は、環境首都実現へのステップアップの年と位置付け、あらゆる事業に環境の視点を取り入れてまいります。総合計画に定める3つの主要プロジェクトで、市庁舎への太陽光発電システムの導入や太陽光・風力発電を利用した環境啓発モニユメントの設置、下水道整備事業、JR安城駅前での電線類地中化事業などを実施してまいります。また、名鉄西尾線碧海桜井駅付近鉄道立体交差事業や南部学校給食施設整備事業、梨の里小学校の開校など、環境首都にふさわしいまちづくりに向け一層努力する所存でございます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

謹賀新年

## 地方分権時代の自治は市民の皆さまとの協働

安城市議会 議長 杉山 隆俊



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成18年の新春を迎え、謹んで皆さまのご健勝を心からお喜び申し上げます。また、日ごろは市議会に對しまして温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の経済は、好調な企業の設備投資と底堅い個人消費とが相合い、回復軌道に乗りつつあります。原油価格の高止まりや米国、中国経済の過熱感など懸念材料はありますが、今後、持続的で本格的な経済成長が続くことを願うものであります。昨年、県内は中部国際空港の開港並びに愛知万博の開催により、たいへん活気づきました。特に万博では、多数の市民の皆さまのご参加により、会場を盛り上げ本市を大いにPRすることができました。また、皇太子殿下が来安した「デンマーク王国や本市にとつて新たに親交を深めることになったコートジボワール共和国との交流などにより国際理解が一層深まった年でもありました。

本年は国政において、小さな政府の実現に向けた様々な改革が進められるものと思われまふ。今後は地方の自由度が高まり、個々の経営の力量が問われてまいります。そのために、徹底した透明性と自己管理機能をそなえた質の高い、市民から信頼される行政運営を行っていかねばなりません。

地方分権時代の自治は、市民の皆さまとの協働が基本となります。第7次総合計画が掲げる「環境首都」の実現に向け、自然や暮らしをとりまくより良い環境を市民・事業者・市が力を合わせて築いていくことができるよう願うものであります。

市議会といたしましても心を新たに、より満足度の高い豊かで安全安心なまちづくりのために、一層の努力をしてまいりたいと存じます。